

公益財団法人 杜の邦育英会  
2022年度 奨学生願書

## ※書類作成上の注意事項

- 1 黒インク又は黒のボールペンで記入のこと。
- 2 年号は西暦を使用し、日本語で記入すること。(応募者自筆のこと)
- 3 記入は、楷書及びローマ字活字体を用いること。
- 4 数字は算用数字(1, 2, 3, 等)を用いること。
- 5 固有名詞はすべて正式な名称とし、一切省略しないこと。
- 6 所定用紙中のすべての欄に正確に記入し、該当事項がない場合は、“なし”と明記すること。
- 7 未記入の箇所があるときは、選考の対象から除外される場合がある。

## 写 真

裏面に氏名記入のこと

6ヶ月以内に撮影した  
上半身、正面、無帽、  
径 4.5cm×3.5cm  
のものを貼付すること

しっかり糊付すること

氏 名 生年月日 年 月 日 性別 男・女

カガナ 年 齢 歳

氏 名 出生地 (都道府県) (市町村)

住所 〒 -

[実家(親族と同居)・一人暮らし・寮・ルームシェア・その他]

TEL: - - 携帯: - - メールアドレス:

家族住所 〒 -

TEL - -

在学学校 (大学生記入) ※西暦で記入すること。

\_\_\_\_年\_\_月\_\_ ~ \_\_\_\_年\_\_月\_\_ 大学 [学校] \_\_\_\_\_ 学部 \_\_\_\_ 学年  
(入 学) (卒業予定)

在学学校 (大学院生記入)

\_\_\_\_年\_\_月\_\_ ~ \_\_\_\_年\_\_月\_\_ 大学 \_\_\_\_\_ 研究科 \_\_\_\_\_ 専攻 \_\_\_\_ 学年  
(入 学) (修了予定) [修士・博士] 指導教官名 \_\_\_\_\_

推薦書作成者 氏名: (学校名・会社名等)

(氏名)

※応募者が記入すること。

学歴 <在籍中のものから順に高等学校まで記入のこと>

(入学)	(卒業)	(学校)	(学部・学科)
_____年__月～	_____年__月	.....	.....
_____年__月～	_____年__月	.....	.....
_____年__月～	_____年__月	.....	.....
_____年__月～	_____年__月	.....	.....

職歴 <2ヶ月以上の不定期雇用(アルバイト)を含む職歴 最近のものから記入のこと>

\_\_\_\_\_年\_\_月～ \_\_\_\_\_年\_\_月 勤務先 ..... 職種 .....

\_\_\_\_\_年\_\_月～ \_\_\_\_\_年\_\_月 勤務先 ..... 職種 .....

家族状況 全兄弟姉妹・同居祖父母を記入。

続柄	氏名	年齢	職業(学校名、勤務先・役職名)	税込年収 ※1	備考
本人					
配偶者					
子					
父					
母					

※1 単位は万円にて記入。

◎家族状況欄について記載上の注意事項

- ・死別の場合は年齢欄に「亡」と記入し、備考欄に享年と没年を「〇〇才/〇〇〇〇年」の通り記入。
- ・離別の場合は年齢欄に「離」と記入し、備考欄に年月を付記。
- ・父母が定年退職している場合は前職業を記入「前職:〇〇」。税込年収欄には現在の収入(年金、不動産等)を記入。
- ・兄弟姉妹が学生の場合は職業欄に学校名、学部(大学院生の場合は修士、博士別)、学年を記入。
- ・応募者本人が既婚の場合も自分の両親及び全ての兄弟姉妹を記入。(兄弟姉妹が既婚の場合も必ず記入)
- ・枠が足りない場合は裏面や別紙を使用。

奨学金 <過去の受給状況及び現在の受給、応募状況について全て記入のこと>

(受給期間)	(奨学財団名)	(制度) <small>(いずれかに○)</small>	(月額)	(応募 受給状況) <small>(いずれかに○)</small>	(併給) <small>(いずれかに○)</small>
_____年__月～ _____年__月	.....	貸与/給付	_____万円	応募中/受給中/完了	可/不可
_____年__月～ _____年__月	.....	貸与/給付	_____万円	応募中/受給中/完了	可/不可
_____年__月～ _____年__月	.....	貸与/給付	_____万円	応募中/受給中/完了	可/不可
_____年__月～ _____年__月	.....	貸与/給付	_____万円	応募中/受給中/完了	可/不可

・卒業時点での貸与奨学金の返済総額 ..... 万円

※過去に受給したもの、現在受給中のもの、これから受給が確定している貸与奨学金の返済総額を記入下さい。

- ・当財団に採用が決まった場合、他貸与奨学金財団を辞退されますか? (現在貸与受給中の方のみ、いずれかに○)  
 辞退する(貸与財団名: \_\_\_\_\_) / しない

## 経済状況

- ・学費年額（入学金含まず、施設設備費等を含む）.....円  
 ※上記の内学費免除額.....円

## ・月額の平均収支

収 入		支 出	
アルバイト収入	.....円	住居費	.....円
種類（.....）		食費	.....円
仕送額	.....円	図書費	.....円
誰から（.....）		交通費	.....円
他奨学金	.....円	その他	.....円
その他	.....円		
収入合計	.....円	支出合計	.....円

## ※月額の平均収支欄について記載上の注意事項

- ・応募者個人にかかる月額収支額を記入のこと。自宅通学生は、住居費・食費等の負担額が無ければ0円で可。
- ・応募者が既婚の場合には、配偶者も含めた金額を記載すること。
- ・収入合計と支出合計は同額にならなくても可。

## 誓 約

私は、貴財団募集要項に記載された内容を理解し、奨学生として採用して頂きたいと申請致します。  
 申請書類の記載事項に虚偽が発見された場合、奨学金の支給を取りやめられても不服を申し立て致しません。

## 公益財団法人 杜の邦育英会 御 中

申請年月日： 2022年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

申請者署名： \_\_\_\_\_

印

## 身元保証人

※親族以外の方でも可(学生・友人を除く)、但し保証人の自筆・捺印のこと。必ず記入して下さい。  
 ※当財団は給付型の為、返済の保証人ではありません。応募者が当財団の奨学生として相応しいという事を保証するものです。

保証人氏名

印

本人との関係

住所 〒

TEL

職業（勤務先・役職名）

参考資料	氏名	
	大学・学部	

<次の質問になるべく詳しくお答え下さい。>

1. あなたは大学生活において、どんなことを勉強したいと思っていますか。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

2. この大学を選んだのはどうしてですか。

.....

.....

.....

3. あなたは卒業後、勉強したことをどのように生かしたいと思っていますか。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

<大学院生の応募者は次の事項も記入してください>

研究テーマ：.....

研究目的：.....

.....

.....



参考資料	氏名	
	大学・学部	

<学業成績について>

下記注意事項を参照の上、提出する成績証明書の、評価毎の**科目数**(単位数ではありません)を直近の年度から順に上から記入し、直近1年間に取得した成績を成績証明書にマーキングして下さい。

※添付する成績証明書は、評価科目数記入のために開封したもので結構です)

① 高校・大学(学部生)等の成績証明書

★添付する成績証明書が下記それぞれの年度と異なる場合、正しい年度に訂正して科目数を記入して下さい。

点数評価(100点満点)	100点～80点	79点～70点	69点以下
ABC評価 ※1参照	(S) (AA) A	B	C以下
優良可評価	秀・優	良	可
5段階評価	5	4	3・2・1
科目数(2021年度)★			
科目数(2020年度)			
科目数(2019年度)			
科目数(2018年度)			
科目数(2017年度)			
科目数合計 ※3参照			

② 大学院の成績証明書 ※大学院の成績は年度別に記入せず、合計のみ記入して下さい。

点数評価(100点満点)	100点～80点	79点～70点	69点以下
ABC評価 ※1参照	(S) (AA) A	B	C以下
優良可評価	秀・優	良	可
5段階評価	5	4	3・2・1
科目数合計 ※3参照			

<注意事項>

※1 科目数を数える際には、点数評価を基準に行ってください。

例 ABC評価で A=100～90 B=89～80 C=79～70 D=69～60 F=未取得という点数配分の成績証明書の場合でも、上記表の中の**点数評価**に従い科目数を記入ください。

※2 合格、認定などの評価の科目は数には入れないでください。

※3 単位数に関わらず、**科目数**を記入して下さい。大学院生で修士と博士の成績がある人は、修士と博士合算した科目数を記入して下さい。

※4 科目数が無記入の場合、書類不備とみなすことがあります。

※5 大学院修士2年生以上の方は、①、②、両方の表を埋めてください。

※6 大学1年生の方は、高校3年間に履修した全科目が対象です。

1～3年の全科目数を評価ごとに記入して下さい。